

# 平山郁夫シルクロード美術館 ニュース

No. 07

平成20年  
7月10日発行

特別展

## 新館完成記念 平山郁夫と 大いなるシルクロード



「古代ローマの遺跡 フォロ・ロマーノ」(2008年 四曲) 古代ローマ帝国の中心にあたる遺跡フォロ・ロマーノを大画面に描いた平山郁夫の「大シルクロード」シリーズの最新作。

平山郁夫シルクロード美術館は昨年着工しました増築工事を予定通り終え、今夏7月13日に新館をオープンいたします。このたび、新館完成を記念して、特別展『平山郁夫と大いなるシルクロード』を開催する運びとなりました。

本展は、この4月、日中和平友好条約締結30周年を記念して、4月18日から26日まで北京の国立中国美術館で開催された「平山郁夫芸術展」(その後、同展はパリ・エトワール三越にて5月21日から6月28日まで巡回しました)の凱旋帰国展です。日本初公開作品「古代ローマの遺跡 フォロ・ロマーノ」(2008年 四曲)を含む近年の代表作を紹介しながら、当館所蔵のシルクロード・コレクションの名品とともに、平山郁夫の画業の“いま”を現在進行形で展観します。かつてない規模の平山郁夫作品が並ぶこの機会、多くの方にご鑑賞いただければと思います。

2008 7.13 SUN ~ 12.15 MON

10:00a.m — 5:00p.m

休館日／火曜日(祝日の場合は開館) 9月15日(敬老の日) 70歳以上入館料半額  
期間中7・8・9月は無休 11月3日(文化の日) 学生以下無料  
11月20日(山梨県の日)により県民無料

入館料 一般1,000円／高・大学生700円／小・中学生500円(土日は無料)  
70歳以上の方・20名様以上の団体 各100円割引  
障害者手帳をお持ちの方は無料 介護の方1名まで500円

主 催 財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

山梨日日新聞社・山梨放送 信濃毎日新聞社 緑綱社

共 催 読売新聞社

山梨県 教育委員会 北杜市 莢崎市 南アルプス市 甲斐市

NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士 エフエム八ヶ岳

協 賛 キリンビール ANA

### 見どころ

本展では、平山郁夫の描くローマから西アジア、中央アジア、中国をへて朝鮮半島に至るシルクロードをテーマとする作品群と、日本の伝統の美を伝える絵画シリーズ、そして、シルクロードの文物をいまに伝えるコレクションの三つから構成されています。

### 見どころ

### シルクロードの集大成 「大シルクロード」

が展示室全面に展開！

3年前より描き続けてきたシルクロードの砂漠を行くキャラバンを描いた近年の連作「大シルクロード」シリーズのうちの4点は、いずれも朝と夜、あるいは太陽と月を対比させた四曲一双の大作です。砂漠を行く駱駝の隊商は平山郁夫の作品に繰り返し登場するモチーフであり、画家のシルクロード観を象徴するイメージともなっています。

### 「パルミラ遺跡を行く(夜)」(2006年 四曲)

月明かりに照らされたパルミラの廃墟を背景に、ラクダに揺られて砂漠を旅するシルクロードの人々。平山郁夫「大シルクロード・シリーズ」の代表作の一つ。

### 見どころ

### 至宝の シルクロード・コレクション

平山郁夫夫妻が長年にわたって収集し、当館に寄贈したコレクションの中からギリシアの陶器、西アジアの形象土器やモザイク、パルミラの貴婦人像、ガンダーラの仏像、菩薩像、中国の唐代の俑、シルクロード沿道諸国の王たちが発行した珍しいコイン等を展示します。シルクロードを往来した貴重な文化財の本物に触ることは、シルクロード周辺諸国の興亡の歴史を、また文化遺産の尊さと平和の大切さを体感する格好の機会です。

#### 弥勒菩薩交脚像

ガンダーラ 2~3世紀片岩  
高さ62.0cm  
当館収蔵のシルクロード・コレクションの中核をなすガンダーラ・コレクション。本作はその中でも世界に誇る優品として、有名な菩薩像です。



#### 打鞠女子騎馬俑

中国 8世紀  
陶製 高さ28.0cm  
馬を駆り、ポロのゲームに興じる躍動感あふれる女性を表した珍しい唐代の俑。当時の鎧、錦の鞍具などを詳細に表した文化史、服飾史的にも貴重な作品です。



北京発、  
パリ經由の  
新作展

### 見どころ

### 日本の古都と 自然を描く

平山郁夫は日本の美を描いた作品も数多く手がけています。今回は現代の京の町並みを洛中洛外図の伝統形式に収めた大作「平成の洛中洛外図」(2003年)や「浄土幻想(日野法界寺・宇治平等院)」(2003年)、綠豊かな青森県の奥入瀬渓流を描いた「流水無間断」(1994年)など、日本の古寺や山河を描いた代表作の数々を展示します。



「平成の洛中洛外図」  
(2003年 四曲一雙・右隻)



「流水無間断」  
(1994年 十二曲・左部分)

一九六二年（昭和三十七年）十月三十日、平山は第回のユネスコ・フエローシップを得たために、第一の訪問国イタリーはローマに向けて出発しました。

これは大変名誉なことで喜ばしい反面、半年も家をあけるのですから、留守されるものについては淋しいに決まっています。その上、当時勤めていた東京芸術大学の助手も、帰国後すぐに一時

退職するということを聞いていましたので、それからどうなるかが大変心配でもありました。

当時私は、長男廉が四月に小学校入学、長女弥生が幼稚園に入園したため、それまで二校掛け持ちでしていた園工の時間講師を退職していました。現金収入が途絶えた平山家の前途に、一片の暗雲がたちこめていたのも事実です。

# 平山の欧洲写生絵巻について思うこと

館長 平山美知子

平山にとっても、半年の留守中によい成績を残さなければという思いで必死だったと思います。

ちょうど冬に向かうヨーロッパの寒さがどんなのが、私には分かりませんが、風の中、雪の中、雨の中で必死に写生を続けた努力の結晶が、この平山の欧洲写生絵巻であったのです。日本と違う宗教、文化に触れて、平山の筆はとどまる事なく描きづけたことでしょう。

イタリーやイギリスで写生をしている平山に、その絵を売つて欲しいといふ現地の人もいたようですが、ユネスコ本部にその成果を報告しなければなりませんので、売るわけにはゆきません。

一日の生活費としてユネスコから支給される九ドルでは、贅沢な生活はとても出来ません。宿泊は最低、食事も最小限だつたそうです。ですから、私たち家族にとて最大のヨーロッパ土産は、出発一週間後から毎日送られてきた平山からの手紙と、クリスマスに送ってきた三つの皮の手袋と、そして予定より一日早く平山が帰国してくれたことでした。

心配していた芸大助手の一時退職も、その後すぐに非常勤講師となり、三ヶ月後には文部教官講師として芸大日本画科の一年生の担任になった事で、前途が開けたように思いました。



Coin



同じくカニシカ王発行の金貨。仏の姿を刻んだ、世界でもまれなコインです。右手で施無印を結び、左手で衣の裾を握った仏陀の姿は、当時のガナダーラ仏とよく似ています。脇に銘がBODDO（仏陀の意）と刻まれています。

## コレクション紹介 —コイン—

ガンダーラのカニシカ王が発行した金貨。このタイプのコインは、世界でもほかに類例が知られていません。コインの一方の面に刻まれた、風をはらんだ大きなマントを手に走る男性の姿は、風の神を表しています。ちなみに、このコインは、ギリシア神話の風神の表現が、シルクロードを通じて日本へも伝えられ、かの有名な俵屋宗達の「風神・雷神図屏風」に至ったという美術の流れを解き明かす力にもなった学術的に貴重な作品です。



カニシカ一世金貨  
中央アジア西部  
2世紀前半 金 直径2.1cm

特別展

# 龍と鳳凰

## —中国染織の流れ—

本年3月より開催しておりました「龍と鳳凰」展は、好評のうちに6月1日、幕を閉じました。

中国は古代より絹を産出し、シルクロードの出発点となつた国です。本展では、中国の代表的文様である龍と鳳凰に焦点をあて、中国の古代から現代に至る染織品の歴史を紹介しました。本館1階では、古代から唐、宋、金、元時代にかけての裂(きれ)を展示しました。中でも本展中最古のものである戰國時代の楚墓から出土した絹錦(たてにしき)の精緻さには、観覧者の方々から驚きの声が寄せられました。別館では2階に明、清時代の錦(にしき)や綾(つづれ)、龍袍をはじめとする宮廷衣装を、3階に中国の少数民族、苗(ミヤオ)族の民族衣装を紹介し、展示に広がりをもたらせました。龍袍の地を埋め尽くす吉祥文様の種類を読み解いたり、手刺繡とは思

えない民族衣装の仕事の細かさを見ていただけます。また、展示を工夫したりと、様々な鑑賞を提案できました。



# 展覧会後記

## 美術館活動の ご報告

### 関連講演会の報告

展覧会ごとに開催しております関連講演会に、このたびも多くの方がご参加くださいました。文化女子大学名誉教授の道明三保子先生は、中国染織の流れについて展示中の作品を中心にご講演くださいました(5月17日)。小宮浩先生は平山郁夫の絵画の制作過程などを紹めながら、薬師寺にある大唐西域壁画についてお話ししてくださいました(6月7日)。両日とも50名近くの聴講者が集まり、講演に熱心に耳をかたむけていました。

### 館外の展示への協力

→美術館所蔵品を貸し出し、館外の展示に協力しました。



6月4日～7月6日という1ヶ月間の短い期間ですが、別館にて『ウズベキスタンの陶器』を展示しました。内戦など社会的な要因から、一時廃れてしまった伝統的なウズベキスタン陶器。そんな中、今もなお脈々と制作を続ける陶芸家たちの作品をサマルカンドやブハラ、ヒヴァなど地域ごとに紹介しました。



平山郁夫芸術展-中国美術館(北京)

#### ●「ガンダーラ美術とバーミヤン遺跡展」

2007年12月28日～2008年3月30日

会場=静岡県立美術館

2008年4月10日～5月18日 会場=福岡アジア美術館

2008年5月28日～7月6日 会場=福井市美術館

ガンダーラ彫刻21点

#### ●「平山郁夫芸術展」

2008年4月18日～4月26日 会場=中国美術館(北京)

2008年5月21日～6月26日 会場=パリ三越(フランス)

平山郁夫絵画46点

\* 日中平和友好条約締結30周年を記念して、北京で大展覧会が開催されました。オープニングには中国の要人や村山富市元総理が列席し、日本からも美術館賛助会員をはじめとする平山郁夫ファン数百名が参加しました。

#### ●「天馬 シルクロードを翔ける夢の馬」

2008年4月5日～6月1日 会場=奈良国立博物館

コレクション6点(印章指輪、帝王狩獵文皿、黃地天馬文綿錦裂など)

## 賛助会のご案内

賛助会は美術館の活動を支援するとともに会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様のご入会を心よりお待ち申し上げております。

なお、皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持・管理などに使用されます。

### 1 年会費

個人会員	1口	10,000円
家族会員	1口	15,000円
法人会員	1口	100,000円

年会費には消費税が含まれます。口数に制限はありません。家族会員は2名様までとします。

### 2 会員募集の期間

会員の申し込みは随時受け付けております。会員証の更新は毎年7月とし、12月から3月までご入会の方は、初年度の年会費は半額となります。また4月～6月のご入会の方は翌年6月まで有効です。

### 3 会員の特典



- 会員証を発行します。  
\*個人会員 1枚 \*家族会員 2枚 \*法人会員 5枚
- 入館料は無料となります。
- 展覧会図録がお受け取りになります。
- 美術館ニュースをお届けします。  
\*個人会員 1部 \*家族会員 1部 \*法人会員 5部
- 特別内覧会にご招待します。
- 当館主催の講演会・講座へ優先的にご案内します。
- ミュージアムショップにて会員割引が受けられます。

### 4 申込方法

入会をご希望の方は申込用紙に必要事項をご記入のうえ、美術館または事務局にご郵送いただき、所定の銀行または郵便局の口座に会費をお振込みください。美術館または事務局に直接お申し込みいただくこともできます。申込用紙は美術館受付に置いてあります。美術館または事務局にご請求していただいても結構です。詳しくは美術館または事務局にお問い合わせください。

## お知らせ

### 新館完成のおしらせ



平山郁夫シルクロード美術館は、展示内容と教育・普及活動の拡充、設備機能の向上、パリアフリ化を目的として、昨年夏より新館増築工事を行ってまいりました。このたび増築工事を終え、7月13日に新館がオープンいたします。工事費用のほとんどが支援者の皆様のご寄附によるものです。

新館には、大小の展示室(4室)、ミュージアム・ショップ、屋上にはウッドデッキのある広場、本館2階部分にはビデオ・図書コーナー、ラウンジを新たに設けます。展示ケースの照明には、環境に配慮した最新のLED照明(発光ダイオード)を採用し、作品により精彩にご覧いただけるようになります。装いも新たになった美術館での展示をお楽しみください。

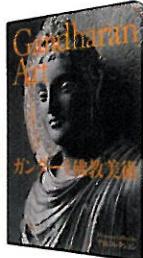
これまで別館として展示していた建物は、今後は販売品や地元の作家さんの展示スペースとして活用していきます。

当館所蔵ガンダーラ彫刻の集大成

### 『平山コレクション ガンダーラ佛教美術』刊行

2007年11月27日に上記の書籍が刊行されました。平山夫妻が40年かけて収集したコレクションは、数と質からいって、ガンダーラ佛教美術の個人コレクションとしてまれに見るものです。片岩やストゥッコの仏陀像、菩薩像、神像、供養者像、仏伝浮彫など、仏教に直接関係するものにとどまらず、この美術が生まれた社会の文化を知るための多種多様な工芸品を多く含み、学術資料としても極めて重要な価値を持っています。陰影の美しい図版で、ガンダーラ美術の粹を堪能ください。

講談社 田辺勝美 編  
B4判変型  
カラー(4色オフセット)  
248頁、総頁304頁  
定価42,000円(税込)



### ホームページをリニューアルしました

新館完成に合わせ、平山郁夫シルクロード美術館のホームページをリニューアルしました。お問い合わせの多い開催中の展示情報をトップページにのせ、検索も分かりやすくしました。所蔵品の紹介ページなども、順次充実させていく予定です。

### 八ヶ岳高原リゾートバス運行

今年もJR小淵沢駅より有料送迎バスが当館にも停車します。美術館のすぐ目の前まで連れててくれるこのバスは、特急あざさに時間が合う便利さだけでなく、様々な施設前にも停車します。ぜひご利用ください。詳しくはホームページをご覧ください。



財団法人  
**平山郁夫シルクロード美術館**

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第7号 平成20年7月10日発行

発行 財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225  
URL <http://www.silkroad-museum.jp>